



Title	鳥山成人教授略歴・著作目録
Citation	スラヴ研究, 32, 185-190
Issue Date	1985
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/5151
Type	bulletin (article)
File Information	KJ00000113248.pdf



[Instructions for use](#)

- スラヴ主義の「民衆的性格」とイー・ヴェー・クレエフスキーのスラヴ主義
『北海道大学文学部紀要』2 pp. 89-115 (3, 1953)
- 封建的社会構成の基本的経済法則——ソヴェト歴史学界の討論の成果
『思想』(岩波書店) 376 pp. 101-108 (10, 1955)
- 「人民の意志」党の革命理論——資料と解説
『スラヴ研究』(北海道大学スラブ研究室) 1 pp. 25-70 (3, 1957)
- ロシア語の歴史的名辭の訳語について
『ナウカの窓』(ナウカ) 4(8) pp. 2-4 (12, 1958)
- 日本におけるロシア史研究
『歴史教育』(歴史教育研究会) 7(1) pp. 10-17 (1, 1959)
- ラヴリズムの形成——綱領〈前進!〉成立小史
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 4 pp. 19-63 (3, 1960)
- ポーランドの貴族共和制
『北大史学』(北大史学会) 7 pp. 69-75 (6, 1960)
- イヴァン四世の改革の性格——1550年の Судебник 85 条の解釈をめぐって (1)-(2)
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 5 pp. 17-31 (3, 1961); 6 pp. 1-26 (3, 1962)
- ロシアの身分制議會
『史学雑誌』(史学会) 71(10) pp. 27-37 (10, 1962)
- ロシア史への私の歩み
『ロシア史研究』(ロシア史研究会) 4(3) pp. 46-55 (5, 1964)
- ポーランドの「連盟」と身分代表制
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 9 pp. 1-14 (1, 1965)
- ポーランド=リトワ連合史研究序説
『東欧研究会会報』1 pp. 4-10 (9, 1965)
- ポーランド=リトワ連合小史(ミェルニクの連合まで)
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 10 pp. 1-26 (2, 1966)
- 外川継男と共著「近代化」をめぐる報告と討論
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 10 pp. 71-84 (2, 1966)
- ペー・エヌ・ミリュコーフと「国家学派」
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 12 pp. 1-57 (3, 1968)
- 古ロシア史の国際會議に参加して
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 16 pp. 271-275 (3, 1972)
- On the Muscovite Autocracy
Forschungen zur Osteuropäischen Geschichte 18 pp. 109-123 (1973)
- 16世紀末ロシアにおける農民農奴化について——ソヴェト史学史におけるグレコフ説
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 19 pp. 1-33 (8, 1974)
- エカテリナ2世の地方改革——その動機と背景に関する問題と諸見解
『スラヴ研究』(北海道大学法学部附属スラブ研究施設) 20 pp. 71-84 (10, 1975)
- 十八世紀のバクーニン家
『えうゐ』(えうゐ編集委員会) 5 pp. 70-73 (11, 1977)
- ロシア農村共同体の土地割替慣行——その普及過程に関する一考察
『スラヴ研究』(北海道大学スラブ研究センター) 24 pp. 51-73 (7, 1979)

「ビザンツの遺産」と「双頭の鷲」

『えらゐ』(えらゐ編集委員会) 10 pp. 41-42 (7, 1982)

総主教フィラレートの穀物戦略

『窓』(ナウカ) 43 p. 1 (12, 1982)

ピョートル伝とピョートル改革——改革の前提と国際環境

『えらゐ』(えらゐ編集委員会) 12 pp. 2-13 (10, 1983)

単行書所収論文

エカテリナ2世

山上正太郎編『女性西洋史』養徳社 (1951)

コロンタイ

同 上 書

炭鉱(現状と問題点——社会環境と子ども)

早川元二、丸岡秀子編『児童問題講座 4 ——社会篇』新評論社 (1954)

ユサク(カザーク)

上原専禄他編『世界史講座 第1部 歴史的世界の形成 III ヨーロッパ世界の形成』東洋経済新報社 (1955)

モスクワ・ロシア

岩間徹編『ロシア史』(世界各国史 4) 山川出版 (1955)

ピョートル一世の絶対主義、貴族政治、エカテリナ二世の啓蒙専制政治

同 上 書

共著 堀米庸三編『表解世界史』山川出版社 (1957) [執筆部分不明]

中世の東ヨーロッパ

尾鍋輝彦、堀米庸三編『ヨーロッパ中世』(世界史大系 5) 誠文堂新光社 (1958)

第三ローマ

梅田良忠、岩間徹編『東欧・ロシア』(図説世界文化史大系 12) 角川書店 (1959)

ロシア(近代・現代)

国際歴史学会議日本国内委員会編『日本における歴史学の発達と現状』東京大学出版会 (1959)

北方戦争

金沢誠他編『ヴェルサイユ太陽王』(西洋史物語 荒正人他編 4) 河出書房新社 (1959)

19世紀ロシア

増田四郎他編『社会経済史大系 7 ——近世後期 第2』弘文堂 (1961)

ピョートル1世

『世界の歴史 10 ——絶対主義』筑摩書房 (1961)

現代の世界

赤井彰、井上泰男編『西洋史通論』下〔旧版〕明玄書房 (1962)

現代

鈴木俊、井上幸治編『世界史ハンドブック』朝倉書店 (1965)

共著『講談社版 世界の文化地理 5——ソヴェト連邦』講談社 (1965) [執筆部分不明]

中世、ロシア

井上幸治、林健太郎編『西洋史研究入門』(新版) 東京大学出版会 (1966)

東欧諸民族のあゆみ

『ビザンツとスラブ』(世界歴史シリーズ 8) 世界文化社 (1969)

14—15 世紀の東ヨーロッパ世界——南・東ヨーロッパ

『岩波講座 世界歴史 11——中世 5』岩波書店 (1970)

ロシアの「建国」

『日本と世界の歴史 6—9 世紀——平安の新政・唐の衰亡・カール大帝』学習研究社 (1970)

イワン雷帝——ツァーリズムの創立者

『日本と世界の歴史 13—16 世紀——南蛮渡来・ヨーロッパのアジア進出・宗教改革』学習研究社(1970)

少年王と北方戦争——スウェーデン王カール 12 世の栄光と挫折

『日本と世界の歴史 15—18 世紀—第 1——享保の改革・動揺するアジア・市民革命と産業革命』
学習研究社 (1970)

清水陸夫と共著 諸民族の移動と建国 (古代と中世の東欧)

矢田俊隆編『東欧史 新版』(世界各国史 13) 山川出版 (1977)

東欧世界の宗教的分化 (古代と中世の東欧)

同 上 書

外圧の形成と東欧諸民族 (古代と中世の東欧)

同 上 書

東欧諸国の発展 (古代と中世の東欧)

同 上 書

身分制国家 (中世末期から一八世紀後半まで)

同 上 書

ハプスブルク家とボヘミア・ハンガリー (中世末期から一八世紀後半まで)

同 上 書

ポーランドの衰退と滅亡 (中世末期から一八世紀後半まで)

同 上 書

岩間徹と共著 ロシア帝国の成立と発展

岩間徹編『ロシア史 新版』(世界各国史 4) 山川出版 (1979)

18 世紀ロシアの貴族と官僚

吉岡昭彦、成瀬治編『近代国家形成の諸問題』木鐸社 (1979)

トルコ族進出以前のバルカン (ヘレニズムからイスラムへ——小アジア・バルカン 3500 年の歴史)

『激動する世界——インド・イランの歴史、小アジア・バルカンの歴史、エジプトの歴史』(『現代用語の基礎知識 '81年版』付録) 自由国民社 (1980)

ピョートル大帝とエカテリーナ女帝

北海道日ソ友好文化会館編『ロシア帝政期の歴史—イワン雷帝よりアレクサンドル 1 世まで』(「ロシアの文化」紹介シリーズ 14) 北海道日ソ友好文化会館 (1984)

翻 訳

共訳 A. パンクラトワ〔編〕『ロシア古代中世史』東京大学出版会 (1954)

共訳 ボリス・ノルド著『ロシア革命とその源流』(アテネ新書 108) 弘文堂 (1960)

アレクサンデル・ギエイシュトル他著『ポーランド文化史』弘文堂 (1962)

- 共訳 ソ連邦科学アカデミー編『ソビエト科学アカデミー版 世界史——中世 4, 6, 7』東京図書
(1963)
- ロバート・ウォーレス原著『ロシア』(ライフ『人間世界史』日本語版 16) タイム・ライフ・インター
ナショナル (1968)
- 編訳 G. ブッチィ『ピョートル大帝——近代ロシアのはじまり』(世界を創った人びと 20) 平凡社
(1978)

書評および学界展望

- 飯田貫一『ロシア経済史』
『日本読書新聞』 592 (27, 4, 1953)
- 飯田貫一著『ロシア経済史』
『歴史家』(北海道歴史家協議会) 1 pp. 84-86 (8, 1953)
- E. H. カー著、酒井只男訳『浪漫的亡命者たち』
『図書新聞』 224 (5, 12, 1953)
- イーゴリ・グセニコ著『ゴーリキイの最後』
『北海道新聞』 4971 (8, 7, 1956)
- E. J. Simmons ed. *Continuity and Change in Russian and Soviet Thought*
『スラブ研究』(北海道大学スラブ研究室) 2 pp. 135-142 (3, 1958)
- 増田富寿著『ロシア農村社会の近代化過程』
『社会経済史学』(社会経済史学会) 24 (3) pp. 70-74 (8, 1958)
- 新しい『ソ連邦共産党史』について
『歴史評論』(民主主義科学者協議会歴史部会) 115 pp. 2-8 (3, 1960)
- 勝田吉太郎著『近代ロシア政治思想史』によせて
『ロシア史研究』(ロシア史研究会) 6 pp. 35-40 (10, 1962)
- エヌ・トゥルゲーネフ著、山本俊朗訳『ロシアとロシア人』
『社会経済史学』(社会経済史学会) 28 (5) pp. 76-78 (3, 1963)
- 西洋史、近代、ロシア・東欧 (1962年の歴史学界——回顧と展望)
『史学雑誌』(史学会) 72 (5) pp. 358-363 (5, 1963)
- T. G. マサリック著 佐々木・行田訳『ロシア思想史 II』
『朝日ジャーナル』(朝日新聞社) 9 (5) pp. 67-68 (29, 1, 1967)
- アレクサンドル・ケレンスキー著 倉田保雄・宮川毅共訳『ケレンスキー回顧録』
『北海道新聞』 8812 (14, 2, 1967)
- 堀米庸三と共著 ヨーロッパ、東欧・中世 (1967年の歴史学界——回顧と展望)
『史学雑誌』(史学会) 77 (5) pp. 314-315 (5, 1968)
- 江口朴郎編『ロシア革命の研究』
『週刊読書人』 761 (3, 2, 1969)
- ヨーロッパ、近代・東欧 (1968年の歴史学界——回顧と展望)
『史学雑誌』(史学会) 78 (5) pp. 337-340 (5, 1969)
- 松田道雄著『革命と市民的自由』
『北海道新聞』 10009 (8, 6, 1970)
『東京新聞』 10044 (8, 6, 1970)

栗生沢猛夫と共著 ヨーロッパ、中世・東欧 (1971年の歴史学界——回顧と展望)

『史学雑誌』(史学会) 81(5) pp. 304-308 (5, 1972)

ヨーロッパ、中世・東欧 (1975年の歴史学界——回顧と展望)

『史学雑誌』(史学会) 85(5) pp. 810-813 (5, 1976)

ヨーロッパ、中世・東欧 (1979年の歴史学界——回顧と展望)

『史学雑誌』(史学会) 89(5) pp. 298-300 (5, 1980)

石戸谷重郎著『ロシアのホロープ』

『史学雑誌』(史学会) 89(10) pp. 90-96 (10, 1980)

B. O. クリュチェフスキー著『ロシア史講話』

『社会経済史学』(社会経済史学会) 49(5) pp. 102-104 (2, 1984)

ヨーロッパ、近代・東欧 (1983年の歴史学界——回顧と展望)

『史学雑誌』(史学会) 93(5) pp. 340-345 (5, 1984)

その他・新聞記事等

平和論の現実的基礎

『北大季刊』(北大季刊刊行会) 3 pp. 2-13 (12, 1952)

『政治と学問』の問題——スターリンとソヴェート歴史学

『北海道大学新聞』330 (28, 5, 1949)

独立の後——ファシズムへの危惧 (特集・運命の岐路に立ちて)

『北海道大学新聞』369 (5, 5, 1952)

ソ連の原爆実験と歴史家

『ロシア史研究』(ロシア史研究会) 2(3) pp. 2-3 (11, 1961)

クラクフとヴァルシャヴァ

ソヴェト科学アカデミー編『世界史』月報 (東京図書) 18 (1963)

スラブ研究の10年

『北海道新聞』8233 (10, 7, 1965)

スラブ研究の展望

『北海タイムス』7771 (10, 1, 1968)

歴史の解釈と相似性

『北海タイムス』8155 (29, 1, 1969)

事 典 項 目

イヴァン一世/イヴァン三世/イヴァン四世/ヴァールシュタット/ウラディーミール一世/オレーグ/キエフ/キエフ公国/クニャージ/史学史——西洋(ロシア)/スラヴ人/ゼムスキー・ソボル/ツァー/ドヴォリャンストヴォ/ドミトリー四世/ニコポリ/ニスタット和約/ノヴゴロド/ピョートル一世/ブルガリア人/北方戦争/ボミェスチエ/ポーランド/ボリス・ゴドゥノフ/ポルタヴァの戦/マゼッパ/モスクヴァ/モスクヴァ公国/ヤロスラフ一世/リヴォニア/リヴォニア戦争/リトゥアニア/ルーリク/ロシア、歴史的概観(1)/ロロ 『世界歴史事典』平凡社(1951—1954)

イヴァン・カリタ/イヴァン3世/イヴァン4世/ヴァールシュタット/ウラディーミール・モノマフ/

エカチェリナ1世／エカチェリナ2世／オプリチニナ／カザン・カン国／シューイスキー／シュラハタ
／シリヴェストル／スラヴォフィル／セイム／ゼムスキー・ソボル／ドミートリー・ドンスコイ／ナロ
ードニキ／ナルヴァの戦／ニコン／西スラヴ族／ニスタットの和約／東スラヴ族／ピョートル1世／ピ
ョートル3世／フメリニツキー／フョードル1世／フョードル3世／プラトーフ／ポクロフスキー／
ポツォ・ディ・ボルゴ／北方戦争／ポニアトフスキー／ポムスチエ制度／ボヤール／ポーランド／
ボリス・ゴドゥノフ／ポルタヴァの戦／ボレスラフ1世／ミーニン・スホルルク／モスクワ／モスクワ
公国／ヤゲロ朝／ヤッシーの和／ヨハン3世／ラージンの乱／リヴォニア／リヴォニア戦争／リューリ
ック／ロシア／ロロ 『世界大百科事典』平凡社（1964—1967）

その他執筆事典類

- 『日本歴史大辞典』河出書房新社（1956-1961）
『アジア歴史事典』平凡社（1959-1962）
『世界名著大事典』平凡社（1960-1962）
『国民百科事典』平凡社（1961-1962）
『岩波小事典 世界史——西洋』岩波書店（1964）
『大日本百科事典(ジャポニカ)』小学館（1967-1972）
『社会科学大事典』鹿島研究所（1968-1971）
『現代世界百科事典』講談社（1971-1972）
『世界大百科事典』平凡社（1972）
『万有百科事典(ジャンル・ジャポニカ) 9——世界歴史』小学館（1975）
『世界大百科事典』平凡社（1984-）

（松田 潤 編）